

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市立総合医療センター	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名 静岡がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	が 特		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	615	86.1	81.6	89.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	86.1	81.6	89.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	12.1	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	3,633,202
決算規模(千円)	1,398,301,090
標準財政規模(千円)	750,434,782
財政力指数	0.69278
経常収支比率(%)	88.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.1
将来負担比率(%)	230.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	40,301,949			
1 経常収益	40,295,952			
(1) 医業収益	32,229,989			
(うち修正医業収益)	32,086,834			
入院収益	14,582,930			
外来収益	16,821,314			
診療収入計	31,404,244			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	825,745			
(うち他会計負担金)	143,155			
(2) 医業外収益	8,065,963			
(うち国・都道府県補助金)	240,755			
(うち他会計補助・負担金)	6,528,285			
(うち長期前受金戻入)	158,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,997			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	40,537,218			
2 経常費用	40,431,699			
(1) 医業費用	36,464,577			
職員給与費	14,169,258	44.0	60.2	54.0
材料費	14,176,994	44.0	25.3	29.9
(うち薬品費)	11,684,745	36.3	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,492,249	7.7	11.6	13.4
減価償却費	2,033,046	6.3	9.0	8.1
経費	5,654,489	17.5	22.5	19.6
(うち委託料)	4,633,394	14.4	12.5	12.7
研究研修費	414,506			
資産減耗費	16,284			
(2) 医業外費用	3,967,122			
(うち支払利息)	493,954	1.5	1.2	1.0
(3) 特別損失	105,519			
損益				
経常収支比率	99.7		105.6	105.8
医業収支比率	88.4		85.1	89.1
修正医業収支比率	88.0		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	16.6		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	83.2		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	57,952,080
1 固定資産	43,366,127
(1) 有形固定資産	40,937,975
(2) 無形固定資産	115,577
(3) 投資その他の資産	2,312,575
2 流動資産	14,585,953
(1) 現金及び預金	8,195,437
(2) 未収金及び未収収益	5,723,971
(3) 貸倒引当金()	99,888
(4) 貯蔵品	626,542
3 繰延資産	-
負債合計	50,278,952
1 固定負債	39,397,143
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,628,309
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,768,834
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	9,021,383
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,302,557
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	864,441
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,672,215
(9) 前受金及び前受収益	53,612
3 繰延収益	1,860,426
(1) 長期前受金	5,965,857
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,105,431
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,673,128
1 資本金	11,584,846
2 剰余金	-3,911,718
(1) 資本金剰余金	459,698
(2) 利益剰余金	-4,371,416
負債・資本合計	57,952,080
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,658,252	6,671,440
資本勘定繰入	1,763,027	216,328
計	8,421,279	6,887,768

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名			
病院名	想定企業会計(静岡県立病院機構)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	3,633,202
決算規模(千円)	1,398,301,090
標準財政規模(千円)	750,434,782
財政力指数	0.69278
経常収支比率(%)	88.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	141,798			
1 経常収益	141,798			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	141,798			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,798			
2 経常費用	141,798			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	141,798			
(うち支払利息)	141,798	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	静岡市		
病院名	静岡市立静岡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	693,389
決算規模(千円)	353,330,636
標準財政規模(千円)	199,938,663
財政力指数	0.87
経常収支比率(%)	90.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	58,000			
1 経常収益	58,000			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	58,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	58,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	58,000			
2 経常費用	58,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	58,000			
(うち支払利息)	58,000	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	-		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	58,000	58,000
資本勘定繰入	284,000	284,000
計	342,000	342,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	静岡市				
病院名	静岡市立清水病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	463	66.4	61.4	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	66.4	61.4	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	14.4	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	693,389
決算規模(千円)	353,330,636
標準財政規模(千円)	199,938,663
財政力指数	0.87
経常収支比率(%)	90.0
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,267,231			
1 経常収益	13,267,231			
(1) 医業収益	9,348,792			
(うち修正医業収益)	8,713,493			
入院収益	6,190,543			
外来収益	2,233,205			
診療収入計	8,423,748			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	925,044			
(うち他会計負担金)	635,299			
(2) 医業外収益	3,918,439			
(うち国・都道府県補助金)	1,221,596			
(うち他会計補助・負担金)	2,575,400			
(うち長期前受金戻入)	21,644			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,553,263			
2 経常費用	12,553,263			
(1) 医業費用	11,810,571			
職員給与費	6,606,514	70.7	60.2	57.5
材料費	1,911,306	20.4	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,083,232	11.6	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	828,074	8.9	11.6	12.6
減価償却費	683,194	7.3	9.0	8.1
経費	2,553,948	27.3	22.5	19.1
(うち委託料)	1,284,447	13.7	12.5	10.0
研究研修費	39,687			
資産減耗費	15,922			
(2) 医業外費用	742,692			
(うち支払利息)	33,590	0.4	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	713,968			
純損益	713,968			
累積欠損金	647,860			
経常収支比率	105.7		105.6	105.7
医業収支比率	79.2		85.1	88.4
修正医業収支比率	73.8		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	34.3		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	24.2		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	80.1		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,202,009
1 固定資産	9,577,909
(1) 有形固定資産	9,120,826
(2) 無形固定資産	483
(3) 投資その他の資産	456,600
2 流動資産	4,624,100
(1) 現金及び預金	1,099,437
(2) 未収金及び未収収益	3,460,264
(3) 貸倒引当金()	96,756
(4) 貯蔵品	46,191
3 繰延資産	-
負債合計	8,429,055
1 固定負債	5,578,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,543,929
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,636,344
(7) 一ス債務	1,398,451
2 流動負債	2,560,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	545,208
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	447,539
(6) リ一ス債務	388,433
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,125,208
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,094
(1) 長期前受金	777,876
(2) 長期前受金収益化累計額()	487,782
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,772,954
1 資本金	6,242,674
2 剰余金	-469,720
(1) 資本金剰余金	178,140
(2) 利益剰余金	-647,860
負債・資本合計	14,202,009
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,550,600	3,210,699
資本勘定繰入	-	51,375
計	1,550,600	3,262,074

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,860 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	600	76.9	77.4	84.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	9.3	3.1
計	606	76.1	76.8	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	13.3	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	383,252,465	
標準財政規模(千円)	227,707,392	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,314,469			
1 経常収益	5,288,828			
(1) 医業収益	279,031			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	279,031			
(うち他会計負担金)	279,031			
(2) 医業外収益	5,009,797			
(うち国・都道府県補助金)	1,941,076			
(うち他会計補助・負担金)	685,459			
(うち長期前受金戻入)	107,209			
(うち資本費繰入収益)	660,101			
(3) 特別利益	25,641			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,082,865			
2 経常費用	4,082,865			
(1) 医業費用	3,804,322			
職員給与費	11,243	4.0	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	1,023,079	366.7	9.0	8.1
経費	2,745,937	984.1	22.5	19.6
(うち委託料)	2,743,814	983.3	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	24,063			
(2) 医業外費用	278,543			
(うち支払利息)	213,540	76.5	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,205,963			
純損益	1,231,604			
累積欠損金	-			
経常収支比率	129.5		105.6	105.8
医業収支比率	7.3		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	18.2		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	345.7		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	18.1		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	105.9		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,171,565
1 固定資産	27,928,295
(1) 有形固定資産	27,378,854
(2) 無形固定資産	7,737
(3) 投資その他の資産	541,704
2 流動資産	8,243,270
(1) 現金及び預金	6,208,838
(2) 未収金及び未収収益	2,027,484
(3) 貸倒引当金()	2,211
(4) 貯蔵品	9,159
3 繰延資産	-
負債合計	22,092,758
1 固定負債	15,240,645
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,931,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,940
(7) 一ス債務	55,003
2 流動負債	5,549,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,456,437
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,491
(6) リ一ス債務	19,519
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,032,447
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,302,865
(1) 長期前受金	3,252,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,949,597
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,078,807
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	10,438,814
(1) 資本金剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,317,541
負債・資本合計	36,171,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	523,490	964,490
資本勘定繰入	729,933	729,933
計	1,253,423	1,694,423

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,424 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	180	94.7	94.3	94.4
療養	45	97.1	96.3	95.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	95.2	94.7	94.7
平均在院日数(一般病床のみ)		49.2	45.0	47.4

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	383,252,465	
標準財政規模(千円)	227,707,392	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,016,412			
1 経常収益	4,016,168			
(1) 医業収益	3,580,884			
(うち修正医業収益)	3,580,884			
入院収益	3,099,482			
外来収益	317,635			
診療収入計	3,417,117			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	163,767			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	435,284			
(うち国・都道府県補助金)	16,914			
(うち他会計補助・負担金)	272,029			
(うち長期前受金戻入)	98,116			
(うち資本費繰入収益)	41,314			
(3) 特別利益	244			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,974,401			
2 経常費用	3,960,146			
(1) 医業費用	3,873,919			
職員給与費	7,458	0.2	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	231,105	6.5	9.0	9.9
経費	3,634,724	101.5	22.5	28.4
(うち委託料)	3,631,916	101.4	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	632			
(2) 医業外費用	86,227			
(うち支払利息)	70,020	2.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	14,255			
損益	56,022			
純損益	42,011			
累積欠損金	209,156			
経常収支比率	101.4		105.6	104.2
医業収支比率	92.4		85.1	81.4
修正医業収支比率	92.4		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	94.5		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,171,565
1 固定資産	27,928,295
(1) 有形固定資産	27,378,854
(2) 無形固定資産	7,737
(3) 投資その他の資産	541,704
2 流動資産	8,243,270
(1) 現金及び預金	6,208,838
(2) 未収金及び未収収益	2,027,484
(3) 貸倒引当金()	2,211
(4) 貯蔵品	9,159
3 繰延資産	-
負債合計	22,092,758
1 固定負債	15,240,645
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,931,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,940
(7) 一ス債務	55,003
2 流動負債	5,549,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,456,437
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,491
(6) リ一ス債務	19,519
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,032,447
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,302,865
(1) 長期前受金	3,252,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,949,597
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,078,807
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	10,438,814
(1) 資本金剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,317,541
負債・資本合計	36,171,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,654	272,029
資本勘定繰入	133,876	133,876
計	240,530	405,905

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,517 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 感 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	36	69.3	60.8	85.1
療養	-	-	47.0	74.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	40	62.4	52.2	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	21.4	22.6

設立団体の状況	
人口(人)	790,718
決算規模(千円)	383,252,465
標準財政規模(千円)	227,707,392
財政力指数	0.85
経常収支比率(%)	88.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	4.8
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,275,934			
1 経常収益	1,275,735			
(1) 医業収益	497,871			
(うち修正医業収益)	459,880			
入院収益	224,373			
外来収益	192,597			
診療収入計	416,970			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,901			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	777,864			
(うち国・都道府県補助金)	96,665			
(うち他会計補助・負担金)	607,772			
(うち長期前受金戻入)	53,969			
(うち資本費繰入収益)	16,442			
(3) 特別利益	199			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,139,364			
2 経常費用	1,138,796			
(1) 医業費用	1,088,162			
職員給与費	544,386	109.3	60.2	86.6
材料費	103,088	20.7	25.3	12.9
(うち薬品費)	71,119	14.3	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,381	5.1	11.6	5.1
減価償却費	97,038	19.5	9.0	12.7
経費	341,532	68.6	22.5	43.7
(うち委託料)	184,814	37.1	12.5	21.5
研究研修費	699			
資産減耗費	1,419			
(2) 医業外費用	50,634			
(うち支払利息)	5,898	1.2	1.2	1.2
(3) 特別損失	568			
損益				
経常収支比率	112.0		105.6	102.4
医業収支比率	45.8		85.1	63.8
修正医業収支比率	42.3		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	50.6		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	129.7		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	50.6		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	55.3		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,171,565
1 固定資産	27,928,295
(1) 有形固定資産	27,378,854
(2) 無形固定資産	7,737
(3) 投資その他の資産	541,704
2 流動資産	8,243,270
(1) 現金及び預金	6,208,838
(2) 未収金及び未収収益	2,027,484
(3) 貸倒引当金()	2,211
(4) 貯蔵品	9,159
3 繰延資産	-
負債合計	22,092,758
1 固定負債	15,240,645
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,931,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	253,940
(7) 一時借入金	55,003
2 流動負債	5,549,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,456,437
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,491
(6) リース債務	19,519
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,032,447
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,302,865
(1) 長期前受金	3,252,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,949,597
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,078,807
1 資本	3,639,993
2 剰余金	10,438,814
(1) 資本剰余金	4,121,273
(2) 利益剰余金	6,317,541
負債・資本合計	36,171,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,515	645,763
資本勘定繰入	22,143	40,969
計	289,658	686,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	沼津市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	387	63.8	64.1	73.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	63.8	64.1	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.1	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	189,386	
決算規模(千円)	81,968,958	
標準財政規模(千円)	42,558,185	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	85.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	21.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,365,848			
1 経常収益	11,365,848			
(1) 医業収益	9,378,571			
(うち修正医業収益)	8,769,571			
入院収益	6,070,979			
外来収益	2,579,370			
診療収入計	8,650,349			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	728,222			
(うち他会計負担金)	609,000			
(2) 医業外収益	1,987,277			
(うち国・都道府県補助金)	508,882			
(うち他会計補助・負担金)	1,291,454			
(うち長期前受金戻入)	44,964			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,072,981			
2 経常費用	11,072,895			
(1) 医業費用	10,581,147			
職員給与費	5,459,246	58.2	60.2	60.7
材料費	2,469,470	26.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,058,121	11.3	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,407,927	15.0	11.6	11.7
減価償却費	607,568	6.5	9.0	9.2
経費	2,010,910	21.4	22.5	21.2
(うち委託料)	941,074	10.0	12.5	11.9
研究研修費	13,551			
資産減耗費	20,402			
(2) 医業外費用	491,748			
(うち支払利息)	21,786	0.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	86			
損益	292,953			
純損益	292,867			
累積欠損金	6,142,993			
経常収支比率	102.6		105.6	106.9
医業収支比率	88.6		85.1	85.8
修正医業収支比率	82.9		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.3		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	16.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	85.5		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,450,771
1 固定資産	8,316,367
(1) 有形固定資産	8,177,104
(2) 無形固定資産	81,973
(3) 投資その他の資産	57,290
2 流動資産	2,134,404
(1) 現金及び預金	565,240
(2) 未収金及び未収収益	1,523,595
(3) 貸倒引当金()	17,181
(4) 貯蔵品	41,286
3 繰延資産	-
負債合計	6,354,872
1 固定負債	4,102,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,672,280
(2) その他の企業債	301,276
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,129,272
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,986,326
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	549,805
(2) その他の企業債	22,724
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,770
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,094,176
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	265,718
(1) 長期前受金	1,139,258
(2) 長期前受金収益化累計額()	873,540
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,095,899
1 資本金	10,238,892
2 剰余金	-6,142,993
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,142,993
負債・資本合計	10,450,771
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,454	1,900,454
資本勘定繰入	200,000	200,000
計	1,500,454	2,100,454

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士宮市				
病院名	富士宮市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,298 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	380	64.4	63.6	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	64.4	63.6	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	12.3	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	128,105	
決算規模(千円)	52,824,470	
標準財政規模(千円)	28,517,290	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	0.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,903,635			
1 経常収益	10,903,635			
(1) 医業収益	9,038,273			
(うち修正医業収益)	8,740,657			
入院収益	5,167,012			
外来収益	3,413,556			
診療収入計	8,580,568			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	457,705			
(うち他会計負担金)	297,616			
(2) 医業外収益	1,865,362			
(うち国・都道府県補助金)	653,823			
(うち他会計補助・負担金)	1,146,985			
(うち長期前受金戻入)	14,595			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,863,597			
2 経常費用	10,833,537			
(1) 医業費用	10,347,463			
職員給与費	5,336,072	59.0	60.2	60.7
材料費	2,838,563	31.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,906,500	21.1	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	931,346	10.3	11.6	11.7
減価償却費	568,316	6.3	9.0	9.2
経費	1,567,878	17.3	22.5	21.2
(うち委託料)	774,913	8.6	12.5	11.9
研究研修費	14,876			
資産減耗費	21,758			
(2) 医業外費用	486,074			
(うち支払利息)	3,581	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	30,060			
損益	70,098			
純損益	40,038			
累積欠損金	4,653,129			
経常収支比率	100.6		105.6	106.9
医業収支比率	87.3		85.1	85.8
修正医業収支比率	84.5		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	13.2		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	87.3		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,294,172
1 固定資産	7,520,645
(1) 有形固定資産	7,392,233
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	125,760
2 流動資産	2,773,527
(1) 現金及び預金	1,246,376
(2) 未収金及び未収収益	1,491,149
(3) 貸倒引当金()	8,331
(4) 貯蔵品	37,622
3 繰延資産	-
負債合計	3,183,463
1 固定負債	1,653,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,437,498
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	215,706
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,353,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	211,264
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	280,730
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	799,892
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,431
(1) 長期前受金	360,143
(2) 長期前受金収益化累計額()	183,712
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,110,709
1 資本金	11,450,126
2 剰余金	-4,339,417
(1) 資本金剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-4,653,129
負債・資本合計	10,294,172
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,444,601	1,444,601
資本勘定繰入	255,399	255,399
計	1,700,000	1,700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	伊東市		
病院名	伊東市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,628 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	250	67.9	68.3	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	67.9	68.3	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.6	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	65,491	
決算規模(千円)	30,959,208	
標準財政規模(千円)	16,786,855	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	83.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	14.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	432,229			
1 経常収益	432,229			
(1) 医業収益	55,000			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	377,229			
(うち国・都道府県補助金)	13,414			
(うち他会計補助・負担金)	232,319			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	361,451			
2 経常費用	361,451			
(1) 医業費用	311,920			
職員給与費	15,813	28.8	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	180,336	327.9	9.0	9.9
経費	112,071	203.8	22.5	28.4
(うち委託料)	88,414	160.8	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	3,700			
(2) 医業外費用	49,531			
(うち支払利息)	49,531	90.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	70,778			
純損益	70,778			
累積欠損金	866,452			
経常収支比率	119.6		105.6	104.2
医業収支比率	17.6		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	66.5		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	522.4		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	66.5		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	40.1		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,293,156
1 固定資産	4,688,704
(1) 有形固定資産	4,507,087
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	181,617
2 流動資産	1,604,452
(1) 現金及び預金	1,583,205
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,756,210
1 固定負債	3,049,119
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,049,119
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	199,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,498
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,368
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	507,663
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額()	136,492
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,536,946
1 資本金	3,142,838
2 剰余金	-605,892
(1) 資本金剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-866,452
負債・資本合計	6,293,156
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	79,997	287,319
資本勘定繰入	82,681	82,681
計	162,678	370,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1575.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	島田市				
病院名	島田市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	38,070 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	435	79.2	77.1	76.0
療養	-	-	-	40.9
結核	4	4.6	-	0.1
精神	-	-	-	-
感染症	6	92.5	34.7	1.7
計	445	77.8	67.6	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	15.2	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	95,719	
決算規模(千円)	42,519,108	
標準財政規模(千円)	23,533,515	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	1.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,330,143			
1 経常収益	14,330,143			
(1) 医業収益	12,339,156			
(うち修正医業収益)	12,225,484			
入院収益	7,526,556			
外来収益	4,368,296			
診療収入計	11,894,852			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	444,304			
(うち他会計負担金)	113,672			
(2) 医業外収益	1,990,987			
(うち国・都道府県補助金)	1,085,050			
(うち他会計補助・負担金)	692,848			
(うち長期前受金戻入)	43,106			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,244,789			
2 経常費用	14,639,744			
(1) 医業費用	13,735,508			
職員給与費	6,971,763	56.5	60.2	57.5
材料費	3,696,526	30.0	25.3	27.9
(うち薬品費)	2,014,947	16.3	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,680,270	13.6	11.6	12.6
減価償却費	1,421,352	11.5	9.0	8.1
経費	1,607,360	13.0	22.5	19.1
(うち委託料)	861,108	7.0	12.5	10.0
研究研修費	34,380			
資産減耗費	4,127			
(2) 医業外費用	904,236			
(うち支払利息)	61,089	0.5	1.2	1.1
(3) 特別損失	2,605,045			
経常損益	-309,601			
純損益	-2,914,646			
累積欠損金	12,918,967			
経常収支比率	97.9		105.6	105.7
医業収支比率	89.8		85.1	88.4
修正医業収支比率	89.0		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	5.6		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	92.4		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,696,719
1 固定資産	23,437,885
(1) 有形固定資産	21,908,548
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	1,524,901
2 流動資産	5,258,834
(1) 現金及び預金	2,408,798
(2) 未収金及び未収収益	2,730,913
(3) 貸倒引当金()	15,107
(4) 貯蔵品	129,842
3 繰延資産	-
負債合計	19,049,390
1 固定負債	16,025,066
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,734,387
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,287,701
(7) 一ス債務	2,978
2 流動負債	2,795,782
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	688,072
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	460,450
(6) リ一ス債務	2,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,640,362
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	228,542
(1) 長期前受金	469,505
(2) 長期前受金収益化累計額()	240,963
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,647,329
1 資本金	22,527,912
2 剰余金	-12,880,583
(1) 資本剰余金	37,614
(2) 利益剰余金	-12,918,197
負債・資本合計	28,696,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	803,755	806,520
資本勘定繰入	762,684	762,684
計	1,566,439	1,569,204

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,999 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	504	71.8	69.0	83.4
療養	-	-	-	-
結核	10	-	0.2	16.1
精神	-	-	-	-
感染症	6	2.3	14.3	2.3
計	520	69.6	67.1	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.2	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	245,392
決算規模(千円)	97,181,378
標準財政規模(千円)	52,091,999
財政力指数	1.00
経常収支比率(%)	88.2
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	3.2
将来負担比率(%)	74.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,569,239			
1 経常収益	17,569,239			
(1) 医業収益	13,009,009			
(うち修正医業収益)	12,504,555			
入院収益	8,731,667			
外来収益	3,580,984			
診療収入計	12,312,651			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	696,358			
(うち他会計負担金)	504,454			
(2) 医業外収益	4,560,230			
(うち国・都道府県補助金)	3,468,648			
(うち他会計補助・負担金)	843,751			
(うち長期前受金戻入)	27,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,999,768			
2 経常費用	14,994,190			
(1) 医業費用	14,310,558			
職員給与費	8,172,714	62.8	60.2	54.0
材料費	3,375,240	25.9	25.3	29.9
(うち薬品費)	1,802,739	13.9	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,572,501	12.1	11.6	13.4
減価償却費	647,533	5.0	9.0	8.1
経費	2,057,805	15.8	22.5	19.6
(うち委託料)	1,176,956	9.0	12.5	12.7
研究研修費	34,731			
資産減耗費	22,535			
(2) 医業外費用	683,632			
(うち支払利息)	4,929	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	5,578			
損益	2,575,049			
純損益	2,569,471			
累積欠損金	1,436,450			
経常収支比率	117.2		105.6	105.8
医業収支比率	90.9		85.1	89.1
修正医業収支比率	87.4		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	108.2		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,376,483
1 固定資産	6,432,151
(1) 有形固定資産	6,424,729
(2) 無形固定資産	7,402
(3) 投資その他の資産	20
2 流動資産	6,944,332
(1) 現金及び預金	4,055,685
(2) 未収金及び未収収益	2,854,592
(3) 貸倒引当金()	24,719
(4) 貯蔵品	40,072
3 繰延資産	-
負債合計	6,804,354
1 固定負債	4,184,462
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,234,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,950,248
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,253,035
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	363,151
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	375,443
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,460,848
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	366,857
(1) 長期前受金	1,143,115
(2) 長期前受金収益化累計額()	776,258
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,572,129
1 資本金	7,395,889
2 剰余金	-823,760
(1) 資本金剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	-1,152,850
負債・資本合計	13,376,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,348,205	1,348,205
資本勘定繰入	217,033	-
計	1,565,238	1,348,205

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	磐田市				
病院名	磐田市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,474 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	498	76.0	78.7	88.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	34.4	17.5	-
計	500	75.9	78.5	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.3	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	166,672
決算規模(千円)	72,354,969
標準財政規模(千円)	40,640,100
財政力指数	0.82
経常収支比率(%)	84.5
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	2.5
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,657,535			
1 経常収益	18,620,357			
(1) 医業収益	15,936,101			
(うち修正医業収益)	15,665,952			
入院収益	9,762,687			
外来収益	5,372,033			
診療収入計	15,134,720			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	801,381			
(うち他会計負担金)	270,149			
(2) 医業外収益	2,684,256			
(うち国・都道府県補助金)	2,202,312			
(うち他会計補助・負担金)	325,234			
(うち長期前受金戻入)	55,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37,178			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,432,549			
2 経常費用	18,322,692			
(1) 医業費用	17,402,591			
職員給与費	9,216,620	57.8	60.2	54.0
材料費	4,161,196	26.1	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,548,022	16.0	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,610,693	10.1	11.6	13.4
減価償却費	964,922	6.1	9.0	8.1
経費	3,006,463	18.9	22.5	19.6
(うち委託料)	1,792,884	11.3	12.5	12.7
研究研修費	34,615			
資産減耗費	18,775			
(2) 医業外費用	920,101			
(うち支払利息)	178,872	1.1	1.2	1.0
(3) 特別損失	109,857			
損益	297,665			
純損益	224,986			
累積欠損金	15,496,444			
経常収支比率	101.6		105.6	105.8
医業収支比率	91.6		85.1	89.1
修正医業収支比率	90.0		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	3.2		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	98.4		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,833,052
1 固定資産	13,807,530
(1) 有形固定資産	13,466,736
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	336,147
2 流動資産	5,025,522
(1) 現金及び預金	1,873,980
(2) 未収金及び未収収益	3,100,567
(3) 貸倒引当金()	15,431
(4) 貯蔵品	66,406
3 繰延資産	-
負債合計	13,901,369
1 固定負債	9,229,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,244,913
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,885,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,859,757
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,781,294
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	532,815
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,545,448
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	811,699
(1) 長期前受金	1,850,191
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,038,492
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,931,683
1 資本金	20,428,127
2 剰余金	-15,496,444
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,496,444
負債・資本合計	18,833,052
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,132,375	595,383
資本勘定繰入	1,271,231	1,236,481
計	2,403,606	1,831,864

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	焼津市				
病院名	焼津市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	471	70.3	71.1	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	471	70.3	71.1	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.8	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	136,845
決算規模(千円)	63,954,374
標準財政規模(千円)	29,022,696
財政力指数	0.86
経常収支比率(%)	88.5
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	6.5
将来負担比率(%)	8.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,322,554			
1 経常収益	14,322,554			
(1) 医業収益	11,949,370			
(うち修正医業収益)	11,605,634			
入院収益	7,566,444			
外来収益	3,817,992			
診療収入計	11,384,436			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	564,934			
(うち他会計負担金)	343,736			
(2) 医業外収益	2,373,184			
(うち国・都道府県補助金)	1,127,788			
(うち他会計補助・負担金)	740,421			
(うち長期前受金戻入)	66,006			
(うち資本費繰入収益)	347,486			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,856,542			
2 経常費用	13,856,542			
(1) 医業費用	13,192,244			
職員給与費	7,038,741	58.9	60.2	57.5
材料費	2,890,563	24.2	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,670,281	14.0	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,154,957	9.7	11.6	12.6
減価償却費	748,270	6.3	9.0	8.1
経費	2,468,011	20.7	22.5	19.1
(うち委託料)	1,099,771	9.2	12.5	10.0
研究研修費	32,412			
資産減耗費	14,247			
(2) 医業外費用	664,298			
(うち支払利息)	7,546	0.1	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	103.4		105.6	105.7
医業収支比率	90.6		85.1	88.4
修正医業収支比率	88.0		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	7.6		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	95.5		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,407,592
1 固定資産	5,826,475
(1) 有形固定資産	5,251,057
(2) 無形固定資産	9,691
(3) 投資その他の資産	565,727
2 流動資産	4,581,117
(1) 現金及び預金	2,270,166
(2) 未収金及び未収収益	2,254,501
(3) 貸倒引当金()	5,087
(4) 貯蔵品	61,537
3 繰延資産	-
負債合計	7,295,090
1 固定負債	4,341,231
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,059,739
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,281,492
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,555,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	684,692
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	460,110
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,336,752
(9) 前受金及び前受収益	9,149
3 繰延収益	397,883
(1) 長期前受金	1,276,405
(2) 長期前受金収益化累計額()	878,522
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,112,502
1 資本金	12,688,777
2 剰余金	-9,576,275
(1) 資本金剰余金	62,636
(2) 利益剰余金	-9,638,911
負債・資本合計	10,407,592
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	974,116	1,084,157
資本勘定繰入	442,685	442,685
計	1,416,801	1,526,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	80.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	藤枝市		
病院名	藤枝市立総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	57,940 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	564	74.0	72.5	78.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	74.0	72.5	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.9	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	141,342	
決算規模(千円)	59,450,142	
標準財政規模(千円)	30,179,654	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	83.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,943,469			
1 経常収益	21,868,814			
(1) 医業収益	17,781,943			
(うち修正医業収益)	17,133,043			
入院収益	10,015,026			
外来収益	6,757,908			
診療収入計	16,772,934			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,009,009			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	4,086,871			
(うち国・都道府県補助金)	3,231,062			
(うち他会計補助・負担金)	680,000			
(うち長期前受金戻入)	80,946			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,074,655			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,445,834			
2 経常費用	19,445,834			
(1) 医業費用	18,327,522			
職員給与費	9,711,672	54.6	60.2	54.0
材料費	5,247,888	29.5	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,621,572	20.4	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,537,654	8.6	11.6	13.4
減価償却費	886,253	5.0	9.0	8.1
経費	2,410,882	13.6	22.5	19.6
(うち委託料)	1,369,422	7.7	12.5	12.7
研究研修費	43,594			
資産減耗費	27,233			
(2) 医業外費用	1,118,312			
(うち支払利息)	178,928	1.0	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	2,422,980			
純損益	3,497,635			
累積欠損金	11,950,102			
経常収支比率	112.5		105.6	105.8
医業収支比率	97.0		85.1	89.1
修正医業収支比率	93.5		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	5.8		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	105.6		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,574,408
1 固定資産	14,241,391
(1) 有形固定資産	13,758,301
(2) 無形固定資産	8,247
(3) 投資その他の資産	474,843
2 流動資産	7,333,017
(1) 現金及び預金	4,355,556
(2) 未収金及び未収収益	2,909,625
(3) 貸倒引当金()	2,818
(4) 貯蔵品	68,333
3 繰延資産	-
負債合計	13,868,111
1 固定負債	9,084,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,755,011
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,740,000
(6) 引当金	2,584,267
(7) 一ス債務	5,285
2 流動負債	3,792,600
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,338,971
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	556,000
(6) リ一ス債務	5,610
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,769,179
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	990,948
(1) 長期前受金	2,784,964
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,794,016
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,706,297
1 資本金	19,648,003
2 剰余金	-11,941,706
(1) 資本剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-11,950,102
負債・資本合計	21,574,408
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,476,600	1,328,900
資本勘定繰入	846,200	601,100
計	2,322,800	1,930,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	87,864
決算規模(千円)	39,869,228
標準財政規模(千円)	21,068,941
財政力指数	0.86
経常収支比率(%)	85.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	47.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	-		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	袋井市				
病院名	聖隷袋井市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,399 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	100	81.7	81.3	82.5
療養	50	86.2	89.3	84.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	83.2	84.0	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)		46.7	47.7	48.1

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	39,869,228	
標準財政規模(千円)	21,068,941	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	85.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	47.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,830,658			
1 経常収益	1,816,727			
(1) 医業収益	1,507,277			
(うち修正医業収益)	1,507,277			
入院収益	1,271,286			
外来収益	101,233			
診療収入計	1,372,519			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	134,758			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	309,450			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	260,481			
(うち長期前受金戻入)	9,483			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,931			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,825,765			
2 経常費用	1,807,830			
(1) 医業費用	1,799,609			
職員給与費	7,525	0.5	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	88,269	5.9	9.0	10.4
経費	1,703,661	113.0	22.5	28.7
(うち委託料)	17,724	1.2	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	8,221			
(うち支払利息)	1,178	0.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	17,935			
損益	8,897			
純損益	4,893			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		105.6	105.7
医業収支比率	83.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	83.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	86.1		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,443,178
1 固定資産	1,104,433
(1) 有形固定資産	1,041,261
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	63,172
2 流動資産	338,745
(1) 現金及び預金	107,888
(2) 未収金及び未収収益	235,357
(3) 貸倒引当金()	4,500
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	878,806
1 固定負債	358,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	355,665
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,046
(7) リース債務	-
2 流動負債	309,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	159,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	616
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	149,968
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	210,265
(1) 長期前受金	296,087
(2) 長期前受金収益化累計額()	85,822
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	564,372
1 資本金	405,000
2 剰余金	159,372
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	159,372
負債・資本合計	1,443,178
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	589	260,481
資本勘定繰入	81,644	70,000
計	82,233	330,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	湖西市				
病院名	市立湖西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,962 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	196	26.8	31.6	34.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	26.8	31.6	34.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	15.3	14.3

設立団体の状況	
人口(人)	57,885
決算規模(千円)	25,038,239
標準財政規模(千円)	13,526,957
財政力指数	1.03
経常収支比率(%)	85.5
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	5.0
将来負担比率(%)	1.6

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,276,501				
1 経常収益	3,275,874				
(1) 医業収益	2,179,610				
(うち修正医業収益)	2,008,100				
入院収益	770,231				
外来収益	941,839				
診療収入計	1,712,070				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	467,540				
(うち他会計負担金)	171,510				
(2) 医業外収益	1,096,264				
(うち国・都道府県補助金)	212,151				
(うち他会計補助・負担金)	771,966				
(うち長期前受金戻入)	102,419				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	627				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,044,326				
2 経常費用	3,043,117				
(1) 医業費用	2,933,611				
職員給与費	1,593,280	73.1	60.2	66.7	
材料費	285,551	13.1	25.3	17.8	
(うち薬品費)	118,950	5.5	13.3	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	166,129	7.6	11.6	9.2	
減価償却費	162,793	7.5	9.0	10.4	
経費	814,991	37.4	22.5	28.7	
(うち委託料)	447,092	20.5	12.5	13.3	
研究研修費	2,951				
資産減耗費	74,045				
(2) 医業外費用	109,506				
(うち支払利息)	3,455	0.2	1.2	1.3	
(3) 特別損失	1,209				
経常損益	232,757				
純損益	232,175				
累積欠損金	-				
経常収支比率	107.6		105.6	105.7	
医業収支比率	74.3		85.1	80.6	
修正医業収支比率	68.5		82.2	76.5	
他会計繰入金対経常収益比率	28.8		11.3	14.8	
他会計繰入金対医業収益比率	43.3		14.9	20.6	
他会計繰入金対総収益比率	28.8		11.2	14.9	
実質収益対経常費用比率	76.6		93.6	90.0	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,315,224
1 固定資産	3,256,578
(1) 有形固定資産	3,203,711
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	52,867
2 流動資産	1,058,646
(1) 現金及び預金	677,884
(2) 未収金及び未収収益	362,647
(3) 貸倒引当金()	1,994
(4) 貯蔵品	19,578
3 繰延資産	-
負債合計	1,945,051
1 固定負債	588,252
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	516,575
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,437
(7) 一時的借入金	22,240
2 流動負債	394,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,981
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	109,094
(6) リース債務	13,771
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	150,815
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	962,779
(1) 長期前受金	3,161,301
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,198,522
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,370,173
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	747,850
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	747,850
負債・資本合計	4,315,224
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	361,476	943,476
資本勘定繰入	58,497	58,497
計	419,973	1,001,973

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	御前崎市				
病院名	市立御前崎総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	145	77.1	78.8	77.7
療養	54	82.8	87.1	87.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	78.6	81.1	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.9	19.8

設立団体の状況	
人口(人)	31,103
決算規模(千円)	17,963,826
標準財政規模(千円)	9,190,250
財政力指数	0.97
経常収支比率(%)	81.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,472,805			
1 経常収益	5,459,043			
(1) 医業収益	3,997,631			
(うち修正医業収益)	3,899,331			
入院収益	2,203,126			
外来収益	1,375,810			
診療収入計	3,578,936			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	418,695			
(うち他会計負担金)	98,300			
(2) 医業外収益	1,461,412			
(うち国・都道府県補助金)	85,962			
(うち他会計補助・負担金)	952,900			
(うち長期前受金戻入)	108,857			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,762			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,517,608			
2 経常費用	5,489,162			
(1) 医業費用	4,843,231			
職員給与費	2,769,297	69.3	60.2	66.7
材料費	748,922	18.7	25.3	17.8
(うち薬品費)	437,627	10.9	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	309,656	7.7	11.6	9.2
減価償却費	391,904	9.8	9.0	10.4
経費	917,610	23.0	22.5	28.7
(うち委託料)	614,121	15.4	12.5	13.3
研究研修費	11,673			
資産減耗費	3,825			
(2) 医業外費用	645,931			
(うち支払利息)	2,117	0.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	28,446			
損益	-30,119			
純損益	-44,803			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.5		105.6	105.7
医業収支比率	82.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	80.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	19.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	80.3		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,475,202
1 固定資産	5,309,868
(1) 有形固定資産	5,065,357
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	244,511
2 流動資産	2,165,334
(1) 現金及び預金	1,383,898
(2) 未収金及び未収収益	685,183
(3) 貸倒引当金()	5,307
(4) 貯蔵品	101,547
3 繰延資産	-
負債合計	3,007,512
1 固定負債	1,089,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	983,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	84,971
(7) 一ス債務	20,823
2 流動負債	566,384
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,530
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	188,100
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	271,416
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,351,599
(1) 長期前受金	4,896,081
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,544,482
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,467,690
1 資本金	4,410,680
2 剰余金	57,010
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	57,010
負債・資本合計	7,475,202
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	475,400	1,051,200
資本勘定繰入	26,920	26,920
計	502,320	1,078,120

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	菊川市				
病院名	菊川市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	202	71.2	69.6	78.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	53.2	53.7	55.9
感染症	-	-	-	-
計	260	67.2	66.1	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	14.4	14.7

設立団体の状況	
人口(人)	47,789
決算規模(千円)	21,333,079
標準財政規模(千円)	12,360,168
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	83.6
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	9.6
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,989,612			
1 経常収益	5,989,612			
(1) 医業収益	4,549,252			
(うち修正医業収益)	4,366,804			
入院収益	2,749,505			
外来収益	1,322,988			
診療収入計	4,072,493			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	476,759			
(うち他会計負担金)	182,448			
(2) 医業外収益	1,440,360			
(うち国・都道府県補助金)	658,704			
(うち他会計補助・負担金)	703,406			
(うち長期前受金戻入)	29,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,549,067			
2 経常費用	5,532,835			
(1) 医業費用	5,241,507			
職員給与費	3,107,204	68.3	60.2	64.0
材料費	686,124	15.1	25.3	19.9
(うち薬品費)	278,528	6.1	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	365,882	8.0	11.6	9.6
減価償却費	278,316	6.1	9.0	9.9
経費	1,145,316	25.2	22.5	28.4
(うち委託料)	672,314	14.8	12.5	13.7
研究研修費	12,377			
資産減耗費	12,170			
(2) 医業外費用	291,328			
(うち支払利息)	68,950	1.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	16,232			
損益	456,777			
純損益	440,545			
累積欠損金	3,598,936			
経常収支比率	108.3		105.6	104.2
医業収支比率	86.8		85.1	81.4
修正医業収支比率	83.3		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	92.2		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,271,084
1 固定資産	5,371,643
(1) 有形固定資産	5,212,701
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	158,942
2 流動資産	899,441
(1) 現金及び預金	43,832
(2) 未収金及び未収収益	839,171
(3) 貸倒引当金()	617
(4) 貯蔵品	17,055
3 繰延資産	-
負債合計	4,328,853
1 固定負債	2,674,160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,619,182
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	52,220
(7) 一ス債務	2,758
2 流動負債	1,046,093
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	546,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	200,124
(6) リ一ス債務	1,449
(7) 一時借入金	36,000
(8) 未払金及び未払費用	261,674
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	608,600
(1) 長期前受金	1,287,857
(2) 長期前受金収益化累計額()	679,257
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,942,231
1 資本金	5,541,167
2 剰余金	-3,598,936
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,598,936
負債・資本合計	6,271,084
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	643,382	885,854
資本勘定繰入	354,923	264,146
計	998,305	1,150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	森町				
病院名	公立森町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,766 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	131	68.3	76.2	85.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	68.3	76.2	85.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.4	26.2

設立団体の状況	
人口(人)	17,457
決算規模(千円)	9,634,998
標準財政規模(千円)	5,642,116
財政力指数	0.58
経常収支比率(%)	83.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.0
将来負担比率(%)	33.0

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,940,679				
1 経常収益	2,934,824				
(1) 医業収益	2,266,571				
(うち修正医業収益)	2,260,197				
入院収益	1,265,324				
外来収益	723,928				
診療収入計	1,989,252				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	277,319				
(うち他会計負担金)	6,374				
(2) 医業外収益	668,253				
(うち国・都道府県補助金)	240,450				
(うち他会計補助・負担金)	294,979				
(うち長期前受金戻入)	16,144				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	5,855				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,824,258				
2 経常費用	2,819,475				
(1) 医業費用	2,607,399				
職員給与費	1,586,854	70.0	60.2	66.7	
材料費	219,818	9.7	25.3	17.8	
(うち薬品費)	103,709	4.6	13.3	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	116,109	5.1	11.6	9.2	
減価償却費	143,243	6.3	9.0	10.4	
経費	646,914	28.5	22.5	28.7	
(うち委託料)	359,941	15.9	12.5	13.3	
研究研修費	3,192				
資産減耗費	7,378				
(2) 医業外費用	212,076				
(うち支払利息)	39,362	1.7	1.2	1.3	
(3) 特別損失	4,783				
損益	115,349				
純損益	116,421				
累積欠損金	2,883,810				
経常収支比率	104.1		105.6	105.7	
医業収支比率	86.9		85.1	80.6	
修正医業収支比率	86.7		82.2	76.5	
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.3	14.8	
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.9	20.6	
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.2	14.9	
実質収益対経常費用比率	93.4		93.6	90.0	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,862,127
1 固定資産	3,193,466
(1) 有形固定資産	3,163,336
(2) 無形固定資産	496
(3) 投資その他の資産	29,634
2 流動資産	668,661
(1) 現金及び預金	242,821
(2) 未収金及び未収収益	420,838
(3) 貸倒引当金()	5,036
(4) 貯蔵品	10,038
3 繰延資産	-
負債合計	2,327,773
1 固定負債	1,368,927
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,338,481
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	30,446
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	582,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	114,500
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,772
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	376,068
(1) 長期前受金	715,868
(2) 長期前受金収益化累計額()	339,800
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,534,354
1 資本金	4,418,164
2 剰余金	-2,883,810
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,883,810
負債・資本合計	3,862,127
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228,803	301,353
資本勘定繰入	196,817	198,647
計	425,620	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	127.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)		
病院名	共立蒲原総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,651 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	21	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	175	61.8	64.4	64.2
療養	92	94.8	97.5	98.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	73.1	75.8	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.2	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,371,607			
1 経常収益	5,361,007			
(1) 医業収益	3,713,316			
(うち修正医業収益)	3,486,632			
入院収益	2,375,210			
外来収益	997,096			
診療収入計	3,372,306			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	341,010			
(うち他会計負担金)	226,684			
(2) 医業外収益	1,647,691			
(うち国・都道府県補助金)	258,300			
(うち他会計補助・負担金)	633,045			
(うち長期前受金戻入)	41,633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,371,607			
2 経常費用	5,367,607			
(1) 医業費用	3,930,789			
職員給与費	2,419,760	65.2	60.2	64.0
材料費	527,942	14.2	25.3	19.9
(うち薬品費)	202,097	5.4	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	325,845	8.8	11.6	9.6
減価償却費	370,951	10.0	9.0	9.9
経費	599,988	16.2	22.5	28.4
(うち委託料)	338,138	9.1	12.5	13.7
研究研修費	5,925			
資産減耗費	6,223			
(2) 医業外費用	1,436,818			
(うち支払利息)	29,025	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	4,000			
損益	-6,600			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		105.6	104.2
医業収支比率	94.5		85.1	81.4
修正医業収支比率	88.7		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	16.0		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	83.9		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,241,603
1 固定資産	4,572,694
(1) 有形固定資産	4,353,042
(2) 無形固定資産	141,098
(3) 投資その他の資産	78,554
2 流動資産	1,668,909
(1) 現金及び預金	689,073
(2) 未収金及び未収収益	931,933
(3) 貸倒引当金()	1,441
(4) 貯蔵品	27,044
3 繰延資産	-
負債合計	2,256,758
1 固定負債	1,027,644
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,027,644
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	768,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	359,817
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	210,172
(6) リ一ス債務	312
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	170,693
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	460,259
(1) 長期前受金	1,536,933
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,076,674
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,316
2 剰余金	118,529
(1) 資本金剰余金	35,529
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	6,241,603
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	632,412	859,729
資本勘定繰入	210,961	-
計	843,373	859,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)		
病院名	榛原総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,565 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	27	指定病院の状況	救臨輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	355	50.0	47.1	51.7
療養	42	98.8	98.8	98.4
結核	-	-	-	-
精神	53	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	48.6	46.4	50.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	16.9	17.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,007,926			
1 経常収益	1,007,926			
(1) 医業収益	178,440			
(うち修正医業収益)	19,404			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	178,440			
(うち他会計負担金)	159,036			
(2) 医業外収益	829,486			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	649,256			
(うち長期前受金戻入)	41,774			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,126,953			
2 経常費用	1,123,103			
(1) 医業費用	885,431			
職員給与費	25,865	14.5	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	357,626	200.4	9.0	8.1
経費	494,205	277.0	22.5	19.1
(うち委託料)	55,161	30.9	12.5	10.0
研究研修費	188			
資産減耗費	7,547			
(2) 医業外費用	237,672			
(うち支払利息)	145,472	81.5	1.2	1.1
(3) 特別損失	3,850			
損益				
経常				
純				
損	-115,177			
益	-119,027			
純				
損				
金	13,924,496			
累積欠損金				
経常収支比率	89.7		105.6	105.7
医業収支比率	20.2		85.1	88.4
修正医業収支比率	2.2		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	80.2		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	453.0		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	80.2		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	17.8		93.6	95.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,561,944
1 固定資産	7,182,850
(1) 有形固定資産	7,027,535
(2) 無形固定資産	4,893
(3) 投資その他の資産	150,422
2 流動資産	379,094
(1) 現金及び預金	362,935
(2) 未収金及び未収収益	13,159
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,681,429
1 固定負債	6,436,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,975,340
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	461,227
2 流動負債	643,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	559,868
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,985
(6) リ一ス債務	30,947
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	48,184
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	600,878
(1) 長期前受金	2,364,209
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,763,331
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-119,485
1 資本	13,764,936
2 剰余金	-13,884,421
(1) 資本剰余金	40,075
(2) 利益剰余金	-13,924,496
負債・資本合計	7,561,944
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	119,485
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	354,185	808,292
資本勘定繰入	371,708	371,708
計	725,893	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7803.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)		
病院名	下田メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救 感 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	138	66.2	65.2	66.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.2	9.6	0.3
計	142	64.6	63.7	64.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.4	10.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	393,912			
1 経常収益	368,160			
(1) 医業収益	72,511			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	72,511			
(うち他会計負担金)	72,511			
(2) 医業外収益	295,649			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	164,953			
(うち長期前受金戻入)	27,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,752			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	368,399			
2 経常費用	366,797			
(1) 医業費用	319,763			
職員給与費	13,928	19.2	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	195,725	269.9	9.0	10.4
経費	109,526	151.0	22.5	28.7
(うち委託料)	105,251	145.2	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	584			
(2) 医業外費用	47,034			
(うち支払利息)	37,983	52.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,602			
損益	25,513			
純損益	25,513			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		105.6	105.7
医業収支比率	22.7		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	64.5		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	327.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	60.3		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	35.6		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,589,928
1 固定資産	4,856,274
(1) 有形固定資産	4,750,332
(2) 無形固定資産	29,215
(3) 投資その他の資産	76,727
2 流動資産	733,654
(1) 現金及び預金	554,098
(2) 未収金及び未収収益	179,534
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,703,108
1 固定負債	2,196,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,196,362
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	-
2 流動負債	303,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	204,521
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	811
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,552
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	202,820
(1) 長期前受金	1,214,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,011,794
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,886,820
1 資本金	1,034,658
2 剰余金	1,852,162
(1) 資本金剰余金	1,663,826
(2) 利益剰余金	188,336
負債・資本合計	5,589,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,194	237,464
資本勘定繰入	104,140	51,285
計	246,334	288,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団				
病院名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,529 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	496	75.6	71.8	83.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	46.3	62.7	9.7
計	500	75.4	71.7	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	9.1	9.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,541,195			
1 経常収益	22,519,493			
(1) 医業収益	16,017,025			
(うち修正医業収益)	15,685,572			
入院収益	10,142,937			
外来収益	4,810,099			
診療収入計	14,953,036			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,063,989			
(うち他会計負担金)	331,453			
(2) 医業外収益	6,502,468			
(うち国・都道府県補助金)	4,988,655			
(うち他会計補助・負担金)	708,226			
(うち長期前受金戻入)	364,220			
(うち資本費繰入収益)	332,293			
(3) 特別利益	21,702			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,242,197			
2 経常費用	18,233,532			
(1) 医業費用	17,313,747			
職員給与費	9,382,115	58.6	60.2	54.0
材料費	4,005,639	25.0	25.3	29.9
(うち薬品費)	1,728,587	10.8	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,270,217	14.2	11.6	13.4
減価償却費	1,241,329	7.8	9.0	8.1
経費	2,619,058	16.4	22.5	19.6
(うち委託料)	1,419,995	8.9	12.5	12.7
研究研修費	56,768			
資産減耗費	8,838			
(2) 医業外費用	919,785			
(うち支払利息)	215,124	1.3	1.2	1.0
(3) 特別損失	8,665			
損益	4,285,961			
純損益	4,298,998			
累積欠損金	-			
経常収支比率	123.5		105.6	105.8
医業収支比率	92.5		85.1	89.1
修正医業収支比率	90.6		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	4.6		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	117.8		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,227,147
1 固定資産	13,971,027
(1) 有形固定資産	12,981,963
(2) 無形固定資産	549,221
(3) 投資その他の資産	439,843
2 流動資産	11,256,120
(1) 現金及び預金	7,978,494
(2) 未収金及び未収収益	2,978,761
(3) 貸倒引当金()	18,148
(4) 貯蔵品	272,296
3 繰延資産	-
負債合計	19,866,577
1 固定負債	15,964,086
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,757,538
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,206,548
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,024,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,045,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	428,341
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,550,766
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	877,742
(1) 長期前受金	4,754,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,876,860
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,360,570
1 資本金	1,302,074
2 剰余金	4,058,496
(1) 資本金剰余金	121,735
(2) 利益剰余金	3,936,761
負債・資本合計	25,227,147
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	897,929	1,039,679
資本勘定繰入	686,431	686,431
計	1,584,360	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。